

Farmers Club (農民支援活動)

ープロジェクト詳細ー

開発インストラクターとなるみなさんへ

今回のプロジェクト詳細では、農民支援活動についての一般的な紹介をします。次に、具体例や組織構造にそいながら、仕事の内容について説明をいたします。

全ての農民支援活動では、構造、組織、規則は同じです。しかし、季節や地域の状況、コミュニティの需要により活動は調整されます。

DI (開発インストラクター-Development Instructorの略称。ボランティア。プログラムに参加した学生のこと) がこのプロジェクトで活動するときには、農村のコミュニティで生活をしながら仕事をするようになります。そして自主的、柔軟に仕事をしなければなりません。仕事内容は季節や、コミュニティの要求、資金によって様々です。

DIとして統計を集め、レポートやニュースレターを書き、プロジェクトのために支援者を探し、ポンプを建設し、模範園を作り実践的な活動をたくさん行い、エクステンション・ワーカーを訓練し、農民自身を奮い立たせ、訓練します。

1. 農民支援活動について

Humana People to People 農民開発活動は、1995年にジンバブエで開始されました。ジンバブエ農村地域の共同農業の事実から、このプロジェクトが開始されました。

ジンバブエの開発団体は、共同農民は貧しい土壌で、さらに降水量も少ない状況で農業を行い、結果として貧しい耕地になっていることに気づきました。農民は、土地の管理の仕方の知識もありませんでした。

農民支援活動プログラムの実施によって、農民たちは農業作物の育て方を一緒に学ぶことで知ることができ、収入も増加しました。この成功によって食糧保全を改善したり、より持続可能な農業方法を取り入れたりするなど、包括的な農民支援活動を行うことができるようになりました。その結果として、農民やその家族の間では貧困を減らすことができました。

2008年2月には、農民支援活動を管理するHumana People to Peopleのメンバーは、ジンバブエで18,000人、マラウイで12,000人、モザンビークで11,000人の農民と関りました。



2. プロジェクトの詳細

農民支援活動は、5年間のプログラムです。最初の3年間は持続可能な農業の基礎知識な教育を行い、残りの2年間で現金払いの作物生産や作物の効果的な栽培方法について力を入れます。

プロジェクトの目的

農民支援活動では以下の6つの結果を目指し活動しています。

1. 農民の健康を促進する。
2. 家族に十分で栄養のある食べ物の提供。
3. 土地開発をしっかりと管理する。
4. 家族の健康を改善する。
5. 新鮮な水や効果的な雨水の利用法を見出す。
6. コミュニティ内で組織する。

対象となるのは共同農業で働く農民や、生産物、収入を増加させることを願う、小規模農業の農民です。

食糧保全と貧困軽減に対して

農民支援活動は、食糧生産の向上を目的としています。プロジェクトでは、食物不足や食物依存に対して長期間にわたって解決していきます。解決策は草の根レベルのもので、農民自身で生活を向上させ、農業生産高を増やし、その結果として市場価格をよくしていきます。



プログラムでは多数の方法で生産物を増加させ、食糧保全を向上させます。例えば、生産物を多様にし、トウモロコシのような穀物だけに依存することを抑えます。また、貯蔵の仕方を改善し、穀物を加工貯蔵します。資源や市場へのアクセスをよくし、政府エクステンション・ワーカーの事業や、質のある種子、肥料、その他たくさんの資源を持つ他の機関とのつながりを向上させます。

プログラムは、持続可能な農業のトレーニングも行っています。高い生産高を維持できる方法で、農業保全を促進します。土地の侵食を減らし、土壌の肥沃や水の管理を向上させるために簡単で現代的なシステムの知識を増やします。低価格のテクノロジーを紹介することで、灌漑へのアクセスを改善します。

プロジェクトはド、イツのPractica Foundationという組織と共に活動します。この組織は、南部アフリカで多数のテクノロジーを提供しており、効果的に作用しています。

例えば、網のポンプはそのテクノロジーの一つです。乾燥地帯では、低価格の手工ドリルシステムが紹介されています。その結果、地下水面が20メートル以上ある地域や井戸を掘るのに安全ではない地域の灌漑用水へのアクセスを可能にします。

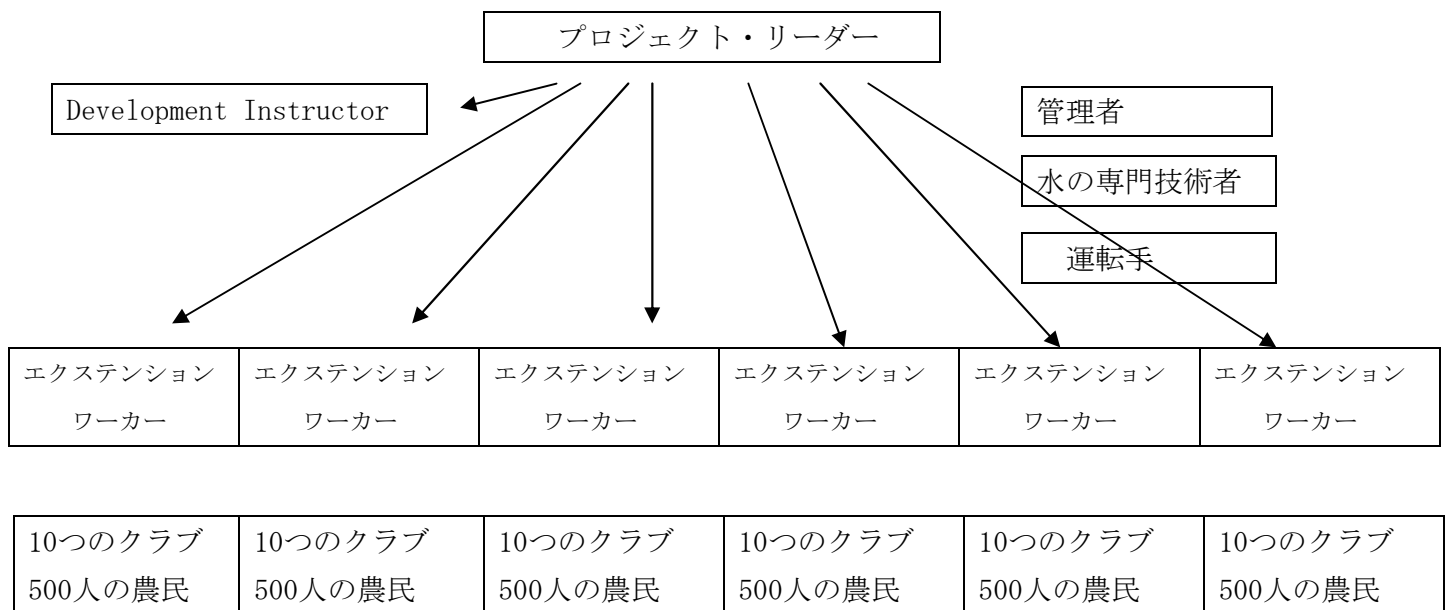
プロジェクトはさらに環境に対しての促進やトレーニングを行っており、浸食や栄養分の損失を減らし、水保全を向上させます。土壌の耕作を減らし、根覆いを紹介し、ベチベル草の外郭をつくれます。水の流出を防ぐベチベル草で地下水システムを作り、雨水をうまく地下の帯水層にまで届くようにします。また、耕地を焼くことに対する悪影響も説明します。その他の大切な活動として、植林の促進や苗木畑の設立などがあります。

プロジェクトの中心的な活動として、模範となる野菜園や区画の設立があります。それぞれのグループは模範園を作り、可能であれば低価格の網ポンプも作ります。より栄養価の高い料理が作れるように、また野菜を販売できるように、多数の野菜を育てられるようなトレーニングを受けます。模範園は、新しい考えや方法を実践するための場として使われます。

模範区画は、選ばれた何人かの農民たちと協力して設立します。ある区画は農業保全のために耕作され、他の区画は間作や穀物を覆うシステムを実践するために使われます。

構造：

Farmers Club (クラブ)



プロジェクトでは、60のクラブと500人の農民から構成され、合計で3,000人の農民がいます。60のクラブには合計6人のエクステンション・ワーカーが所属し、各エクステンション・ワーカーは10のクラブを受け持ち、農民にトレーニングを行う責任があります。プロジェクト・リーダーは、全体の指揮を執ることになります。

開始

プロジェクトは、Humanaのエクステンション・ワーカーがプロジェクトの概念を農業コミュニティに紹介することから始まります。興味をもった農民たちが参加を決めます。エクステンション・ワーカーは、地域機関が行うコミュニティ集会の場を利用して説明します。プロジェクトに参加を希望する農民たちは、プロジェクト集会に呼ばれます。そこで構造が紹介され、話し合いを行い、合意に至ります。その後小額の登録料の合意をし、登録をします。



委員会

各クラブは、委員会に所属することになります。そこではクラブの組織、運営、経済面での責任を持つことになります。委員会は、5人のメンバーで形成されます。

議長、副議長、書記、経理、メンバーの代表の5人です。委員会ではクラブメンバーや生産物、集会、経済に関する記録をとります。各クラブはそれぞれの要求に合わせて組織作りをします。委員会は月に一度行われ、他のクラブの問題点や解決策を話し合います。時々、プロジェクト・リーダーも委員会集会に参加し、委員会メンバーのトレーニングを行います。



全体ミーティング

プロジェクトでは、毎月、一度に全体ミーティングがあります。ここでは、新しい考えが紹介され、結果や問題点が話し合われ、新しいテクノロジーを学びます。ミーティングの議題は、議長とエクステンション・ワーカーとで毎月決められます。

議題は、クラブの状況に合わせて決められます。エクステンション・ワーカーは、ミーティングでプレゼンテーションを行い、現代の農業技術のレッスンを行います。参加者の出席はきちんと管理されており、参加回数が少なければプログラムから退去しなければなりません。



農場訪問

エクステンション・オフィサーは、地域政府エクステンション・ワーカーと一緒に定期的に農場を訪問します。この訪問により、農民たちは各個人援助を受けます。

野外集会実証日

野外集会は乾季に行われ、農作物耕地の野外集会は雨季に行われます。野外集会は、2~3つのクラブの農民たちが1つの場所に集まれる日です。ある野外集会に農民たちは、彼らの中での最良の農場を訪ねます。そして彼らの耕地を検証して、良い実例から学びます。またほかの野外集会には、お互いの農場を訪ねお互いの失敗例や成功例から学びます。実証日は、保全農業のような新しい方法を紹介するために計画が立てられます。

コミュニティでの活動

プロジェクトの別の特徴は、農民や彼らの家族の生活状況を改善する活動を行っているということです。衛生と健康に関する活動は、1年に2度おこなわれます。これらはマラリア予防活動や、コミュニティや家の周りの清掃活動、植林活動、HIV/AIDS防止キャンペーンなどです。

イベント

1年に2, 3度、農民たちはその年の成果をお祝いしたり、その年の最高のトウモロコシ栽培者を賞賛したり、また植え付けの季節に向けてどんな作物を育て、どの資源を使い、どれだけの予算をかけるかなどの日々の最良の計画者を賞賛したり、といった特別のイベントに参加することができます。

研究会

研究会は、エクステンション・オフィサーか、新しい技術を学ぶことができる特定の分野に興味のある農民のグループによって組織されます。クラブのメンバーはお互いの農場を訪問したり、知識を増やすために大型の商業用農場も訪問したりします。



3. 農民支援活動での開発インストラクターの仕事

農民支援活動のDIとして、上記で紹介してきたような幅広い要素の仕事をするようになります。プログラムの様々な部分において開発に携わるようになります、また、あなたの考えや情報の提供は農民のためになります。

DIは、農民支援活動プロジェクトの1つの農村のコミュニティで生活することになります。プログラムを進展させるために、DIとしてコミュニティの人々と密接に関わり働くことになります。あなたの地域でのあなたの開発は、ほかの地域の手本となることができるでしょう。

それぞれのプロジェクトは、個々の特徴を持っています。しかし、構造とプログラムは全てのプロジェクトで同じです。プロジェクトのチームプレーヤーとして振る舞うこと、またプロジェクト・リーダーのリーダーシップのもと働くことが重要です。そして、よく聞くことです。農民があなたから学ぶように、あなたもプロジェクト・リーダーやエクステンション・ワーカー、プロジェクト内の人々からたくさんのことを学ぶことができるでしょう。そして、全ての人々の知恵はすべて有益なものになるでしょう。

4. DIとしての仕事

この項目では、あなたが農民支援活動でおこなう課題についての例を説明します。

協力と開発を促進するために、コミュニティと一緒に仕事をする

あなたは開発を促進するために、コミュニティの人々、キープ・レーヤーと働くことになります。キープ・レーヤーとは、農民支援活動委員会のメンバーや、村長、教会長、地域の学校、地域団体のことです。

また、プロジェクトの週のミーティングに参加することになります。そこでは、農民の結果の見直しや進歩の分析、長所と短所の分析がおこなわれます。このミーティングの間、DIは聞き、学び、助言をします。また、DI自身がレッスンを開き、プレゼンテーションをすることもあります。

それと平行して、キャンペーンも行います。そこでは、後援をするためにコミュニティの中で重要となる人々と関わるようになります。これは例えば、HIV/AIDSキャンペーンや植林活動、村を整えるためのキャンペーンなどです。

水の効率的な仕組みと環境問題に関する意識の増加のために、コミュニティの人々と仕事を行う

地球温暖化による降水量の変化は、プロジェクトのたくさんの農民に影響しています。少なくとも、年間を通して野菜を生産するために、例えば低価格の網のポンプを取り入れるなど、灌漑用水へのアクセスは今まで以上に重要になってきます。そのため、いくつかの専門的で実践的な技術やたくさんの農民へのトレーニングが必要とされています。

知られている全ての水貯蓄方法が紹介されています。ベチベル草の植え付け、植林、溝の改善などがあります。

DIとしてあなたが最も頻繁に行う仕事は、井戸を作り、網のポンプを作ることです。また、教育に役立つ野外集会を構成することになります。苗木畑を作り、木を植えるために活動を組織するために、協力を得て仕事をします。コミュニティの中で環境活動を計画し、組織することになります。

模範園

模範園は家庭の食物安全性を向上させるために、家族（主に女性）の能力を強化するために行われています。栄養価のある野菜や、免疫を強める薬草の生産を通して、模範園は家庭の栄養状態の改善、とりわけHIV陽性の家族のメンバーに大きく貢献しています。

DIとしてあなたは、それぞれの家庭が模範園を成長させることを助長することになります。その1つの方法として、手本となる模範園をあなたが作ることです。あなたはもっとも栄養価のある野菜や薬草を促進し、多様性を保証します。あなたは農民にどのビタミンやミネラルが体に必要なのか、また、その栄養価を得るためにどんな野菜を栽培すればいいのかということをお教えることとなります。堆肥の生産物も作るようになります、園芸日を組織します。この仕事の間中、あなたはエクステンション・ワーカーと密接に関わり仕事をするようになります。

模範小区画地

模範小区画地は、現代の持続可能な農業方法を実践する場として使われています。例えば農業の保全や、土壌浸食の保護、穀物を覆う方法、穀物循環や堆肥を作るなどの方法が実践されています。これらのことが、より実用的な農業経済を営むために、また、食物保全を確立するために奮闘していたり、特に環境面で不安定な雨のパターン苦しんでいたりする農民が、彼らの土地でその実践が必要とされている方法です。

DIとして、穀物の多様性や、穀物循環、穀物を覆う方法、また、間作や鉢の中での植木などのようなよい農業実践を促進することになります。DIは、様々な種類の穀物が最良に使われるようにしなければなりません。そして、エクステンション・ワーカーと一緒に、農民たち彼ら自身の土地でよい農業実践を履行するために、農民たちを援助することになります。

管理、コミュニケーション、情報、社会関係に対するプロジェクト・リーダーのサポート

この分野は、あなたがDIとして大きな変化をもたらすことができる分野です。

プロジェクトでのDIとしての仕事は、2ヶ月に1度にプロジェクトのニュースレターの記事を書くことです。また、同時にそのレイアウトを考え、印刷をすることです。その他の仕事としては、訪問者の受け入れをし、その訪問者に対してプロジェクトを紹介します。寄付者や支援者によい印象を与えられるように、またプロジェクトをよく理解してもらうために気をつける必要があります。

プロジェクトの記録を取り、集められた情報の統計と分析のサポートをし、レポートを書きます。この仕事は、プロジェクトは適切な軌道にのっているのか、欠点はどこにあるのか、改善させるために何が必要なのかなど、仕事を進展させるために重要な仕事です。プロジェクトの統計や、記録、レポートは寄付者やパートナーに対して彼らのサポートの結果を見ることのできる手段として証拠文書ともなります。

あなたは政府の労働者やその地区のNGOの方たちと協力して開発に携わり、地元の寄付者の方からの協力と資金を得るために働きます。

5. プロジェクトで働くために

DRHスクールでプログラムを行い、DIとして農民支援活動で活動するには、DRHスクールに滞在中に、主に下記のような準備が必要です。

1. プロジェクトで教えるであろう、実践的な技術について熟知しましょう。「40のガイア・グリーン・ワールド・アクション」を徹底的に読みましょう。網ポンプの建設の仕方を学び、もし可能であれば、学校で試作品を作ってみましょう。薪ストーブや水純化システムを作ってみましょう。井戸がどのようにして作られるのかを学びましょう。
2. 開発途上国の持続可能な農業や、水保全について多くのことを学びましょう。ベチベル草とは何か、また、地下水の再利用システムについて調べましょう。野菜園を学校で造り、堆肥の作り方を練習しましょう。よい農業経営の仕方について学びましょう。栄養のある野菜の利点をうまく説明できるようになりましょう。ビタミンやミネラルの必要性を教える、ポスターを作りましょう。模範野菜園で免疫を高めるために、どの葉草が栽培できるか学びましょう。組織的な農場を訪ねてみましょう、そしてどのように持続可能な農業が実践されているか経験しましょう。プロジェクトで直面する農民たちの環境を比べみましょう。農業保全や間作、穀物を覆うシステムの原理を説明できるように練習しましょう。そして可能であれば学校で実践し、近所の農民たちに見せてみましょう。植林の大切さを学びましょう。
3. あなたが行く地域の地球温暖化問題について学びましょう。地球温暖化問題に対してのプレゼンテーションを、ポスターを使って行いましょう。
4. 物事を企画・運営し、人々をうまく動員する能力や問題解決の能力を養いましょう。
5. コースや学習会、授業を開く練習をしましょう。
6. 健康管理をし、アフリカでの生活に備えましょう。このことはよい仕事をするために、またよい経験を積むために必要不可欠です。長時間の徒歩や自転車に備え、体力を鍛えておきましょう。
7. ポルトガル語圏の国へ派遣される場合、言語力が重要になります。日常生活に支障のないよう語学力をつけておきましょう。また、このプロジェクトは特にコミュニティでの活動となるので、現地語の練習も行くと良いでしょう。
8. 様々な種類の情報の資料を集め、統計をとり、レポートを書く練習をしておきましょう。DIとして、どのプロジェクトにおいても非常に大切なスキルとなります。

6. 構造

活動地域

農民支援活動では、60のクラブから構成されています。あなたが到着したとき、プロジェクト・リーダーはどこでどんな仕事をするのかは、地域の状況や、そのときのプロジェクトの必要性により決定されます。

プロジェクト地域までは、自転車か、20キロ以上離れている地域であれば、バスなどの交通機関で移動することになります。

日課

最低でも固定された日課の仕事の準備はしましょう。これは、DI自身が1日を組織するという意味です。あなたは週や月の計画をプロジェクト・リーダーか、一緒に働いているエクステンション・ワーカーと共に立てることになります。DIは毎日、毎週、毎月計画についてのミーティングをすることになります。

日々の構成

たいていDIは、8時から17時まで農場で働くことになります。夕方には問題や進展についてプロジェクト・リーダーまたはエクステンション・ワーカーと話し合い、次の日の仕事の準備をすることになります。

7. 最後に

今回は、農民支援活動の仕事に関する一般的な事柄を説明しました。一読したことで、どのような仕事があるか理解して頂き、農民支援活動で活動したいかどうかを考え、出発に向けた準備を始めることができたのではないのでしょうか。

この農民支援活動に関する「プロジェクト詳細」を一読し、次に行くことは、プロジェクト・リーダーに対するプレゼンテーションを準備することです。このプレゼンテーションの準備は、DIが開始してから3ヶ月が過ぎた時にある、「ミッドウェイ・ミーティング」の課題でもあります。そして、このプレゼンテーションは、チームメイト、担当の指導教員、ヘッド・マスターにより審査され、認められた後にプロジェクト・リーダーへ送られます。その後、プロジェクト・リーダーはプロジェクト内のその後、プロジェクト・リーダーはプロジェクト内の特定した業務範囲、業務計画を派遣の約2ヶ月前に連絡してきます。ですので、この出発までの2ヶ月で精神面、肉体面、スキルなどを鍛え準備を整えることができるでしょう。

あなたが最善の力を発揮し、成功をつかめますように・・・